

**製品名: BRWD3 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab07670**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	204kDa

**抗原情報**

遺伝子名	BRWD3
別名	BRWD3; Bromodomain and WD repeat-containing protein 3
遺伝子 ID	254065.0
SwissProt ID	Q6RI45
免疫原	抗血清はヒト BRWD3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1751-1800

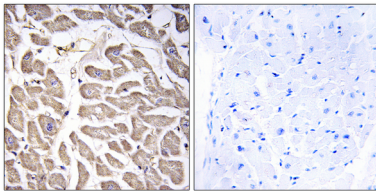
**背景**

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、プロモドメインと複数の WD リピートを含みます。クロマチン修飾機能を持つと考えられており、転写において役割を果たしている可能性があります。この遺伝子の変異は、X連鎖性93型精神遅滞（X連鎖性大頭症

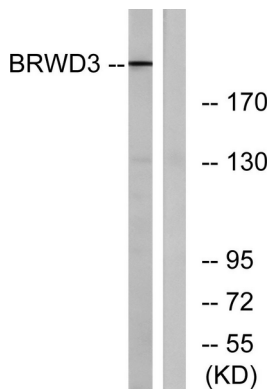
精神遅滞とも呼ばれます)を引き起こします。この遺伝子は、B細胞性慢性リンパ性白血病患者における転座とも関連しています。[RefSeq 提供、2010年5月];注意: この遺伝子に関連する転座は、当初 t(X;11)(q13;q23) (PubMed:15543602) として発表されましたが、BRWD3 は Xq13 ではなく Xq21 に局在しています。、発達段階: 胎児肝臓で発現します。、疾患: BRWD3 に関連する染色体異常は、B細胞慢性リンパ性白血病 (B-CLL) 患者に認められます。 ARHGAP20 との転座 t(X;11)(q21;q23)は融合転写産物を生じませんが、両方の遺伝子を破壊します。、疾患: BRWD3 の欠陥は、X連鎖性93型精神遅滞 (MRX93) [MIM:300659]の原因です。これは、X連鎖性巨頭症とも呼ばれます。知的障害は、適応行動の障害を伴う、発達期に発現する、平均を著しく下回る全般的な知的機能の障害を特徴とする。知的障害のある人は、知的障害のない同年代の人に比べて、大頭症を発症する可能性が少なくとも2倍高い。、PTM: DNA損傷時にリン酸化される。おそらく ATM または ATR による。、類似性: 2つのプロモドメインを含む。、類似性: 9つのWDリピートを含む。、組織特異性: ほとんどの成人組織に認められる。調査した B-CLL 症例の大部分でダウンレギュレーションが認められた。、

## 研究分野

## 画像データ



BRWD3 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト心臓組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



BRWD3 抗体を用いた COLO 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。